

日本下垂体研究会 第 28 回学術集会

プログラム・講演要旨集

2013 年 8 月 7 日（水）～ 9 日（金）

花巻温泉 ホテル千秋閣

〒025-0304 岩手県花巻市湯本第 1 地割 125

## 「日本下垂体研究会事務局」からのお願い

学会期間中に、日本下垂体研究会事務局の受付を設けます。受付には会員名簿と会費納入状況の書類を準備いたします。この機会に、年会費の確認と支払、会員登録状況の確認、育英資金の支給などを受け付けます。特に、評議員の先生方には、ご自身の所属と会費納入状況の確認とともに、所属学生の異動の有無や会費納入状況の確認をお願いいたします。

## 日本下垂体研究会 第 28 回学術集会 開催要領

### 1. 会期

平成 25 年 8 月 7 日（水） 幹事会、一般講演、ファイル・オン・ザ・デスク  
平成 25 年 8 月 8 日（木） 一般講演、評議員会・総会、吉村賞授賞式・講演、  
教育講演、シンポジウム I、懇親会、ファイル・オン・ザ・デスク  
平成 25 年 8 月 9 日（金） シンポジウム II、最優秀発表賞授賞式

### 2. 会場

花巻温泉 ホテル千秋閣

<http://www.hanamakionsen.co.jp/senshu/>

〒025-0304 岩手県花巻市湯本第 1 地割 125

TEL.0198-37-2150 FAX.0198-27-4421

### 3. 参加受付

8 月 7 日（水） 13：00 より講演会場前で受付を行います。学術集会参加費および懇親会費を現金にてお支払い下さい。会計終了後、受付にて名札をお受け取り下さい。名札は次回の学術集会でも使用しますので、お帰りの際にご返却ください。

### 4. 学術集会参加費

一般会員：5,000 円、学生会員：2,000 円、非会員：7,000 円、賛助会員：10,000 円

### 5. 懇親会費

一般会員：5,000 円、学生会員：3,000 円、非会員：5,000 円、賛助会員：10,000 円

### 6. 弁当

8 日（木）の昼休みにお弁当を配布いたします。弁当代は 1,000 円です。宿泊費とともにホテルフロントでお支払い下さい。

### 7. 宿泊

部屋割表は受付時にお渡しいたします。宿泊費はホテルのフロントで、滞在期間中適宜お支払い下さい。なお、チェックインは 15 時以降、チェックアウトは 10 時までとなります。

### 8. 講演の形式

講演時間は吉村賞 40 分、教育講演 30 分です。シンポジウムは質疑を含み 30 分です。一般講演の発表時間は 10 分、質疑は 2 分です。会場には Windows XP を搭載した PC を一台用意します。Microsoft Office PowerPoint 2007 で作動確認したファイルをご準備ください。異なる OS や別バージョンの PowerPoint で作製した場合は、上記の環境で問題なく作動することを確認しておいてください。作成した PowerPoint ファイル

ルを USB フラッシュメモリまたは CD-R に保存して、会場のファイル受付係までお持ちください。発表データは、事務局で用意した PC にコピーさせていただきますが、学術集会終了後に責任を持って消去いたします。

やむを得ずご自身の PC を持ちこまれる場合には事前にお知らせ下さい (jspr2013@kitasato-u.ac.jp 宛)。接続に必要なアダプターはご持参下さい。

#### ファイルの受付

7日(水)の一般演題は14時まで講演会場で、それ以降の一般演題とシンポジウムについては、できるだけ7日(水)のファイル・オン・ザ・デスク会場にてファイルを受け付けることといたします。この時間帯以外でも柔軟に対応いたしますが、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

### 9. ファイル・オン・ザ・デスク

7日(水)夕食後(21:00~23:00)と8日(木)の懇親会の後(21:30~23:00)にはファイル・オン・ザ・デスクを行います。一般講演にご使用した PowerPoint の印刷版をご持参下さい。アルコールやソフトドリンクを片手に情報交換と交流を深めて下さい。

### 10. 会場までの交通手段(参考)

(1) 東京方面から鉄道を利用する場合

<東北新幹線・北上駅もしくは新花巻駅で在来線に乗り換えて花巻駅へ行く。花巻駅からは路線バス>

やまびこ 53号 東京 8:40→北上 11:32→新花巻 11:44

東北本線各駅停車 北上 11:39→花巻 11:50

釜石線快速はまゆり 4号 新花巻 11:52→花巻 12:05

バス 花巻駅前(4番乗り場) 12:45→花巻温泉 13:02

タクシー料金: 花巻駅→花巻温泉(約2,400円)、新花巻駅→花巻温泉(約3,300円)

<無料バスを利用する>

やまびこ 55号 東京 9:40→新花巻 12:40、やまびこ 57号 東京 10:40→新花巻 13:40

8月7日にはこれらの新幹線に連絡する無料バスを準備します。

\*幹事会開始時刻は13:30です。幹事の先生方はやまびこ 53号もしくは同 55号をご利用下さい

(2) 花巻空港を利用する場合

タクシー 花巻空港→花巻温泉(約2,300円)

(3) 復路

8月9日には新花巻駅 13:22 発のやまびこ 58号に連絡する無料バスを準備します。

### 11. 最優秀発表賞の審査

最優秀発表賞に応募の口頭発表は、最優秀賞審査要項に従って審査員によって審査

されます。審査員の評点をもって、最優秀発表賞受賞者を決定します。

## 12. 連絡先

第28回 日本下垂体研究会学術集会事務局

〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1

北里大学海洋生命科学部内

電子メール: [jspr2013@kitasato-u.ac.jp](mailto:jspr2013@kitasato-u.ac.jp)

電話 : 042-778-9144

FAX : 042-778-5010

会 長 : 高 橋 明 義 (会長)

事務局 : 天 野 勝 文

森 山 俊 介

千 葉 洋 明

天 野 春 菜

阿見彌 典子

水 澤 寛 太 (受付担当)

## 1. 吉村賞受賞講演

田谷 一善（東京農工大学名誉教授）

「インヒビンによる哺乳類の視床下部・下垂体・卵巣機能調節機構」

前多 敬一郎（東京大学大学院農学生命科学研究科）

「ほ乳類の繁殖機能を制御する神経内分泌メカニズム」

## 2. 教育講演

白澤 信行（山形大学医学部）

「胃のエストロゲンと下垂体」

## 3. シンポジウム

### I：性徴・性分化と内分泌

千葉 洋明（北里大学海洋生命科学部）

アブラハヤの排卵に伴う吻部伸長における生殖腺刺激ホルモンの役割

伊藤 道彦（北里大学理学部）

両生類の雌雄生殖巣形成と性ホルモン産生制御

浜崎 浩子（北里大学一般教育部）

脳の性と性分化～鳥類キメラを用いた解析～

太田 博樹（北里大学医学部）

人類進化とエストロゲンおよびその遺伝的制御

### II：下垂体の起源と進化

野崎 眞澄（新潟大学理学部）

スタウナギからみた腺下垂体ホルモンの進化

Stacia A. Sower（ニューハンプシャー大学）

Discovery and evolution of gonadotropins and their receptors

森山 俊介（北里大学海洋生命科学部）

成長促進関連ホルモンの分子進化と機能

窪川 かおる（東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所）

無脊椎動物にみる下垂体ホルモンと受容体の進化

大杉 知裕（（公財）サントリー生命科学財団生物有機科学研究所）

GnIHの起源と分子進化：無顎類におけるGnIHの同定と機能解析

## 4. 一般講演 37題

## 5. ファイル・オン・ザ・デスク～アルコール・ソフトドリンクとともに

### 【会場案内】

受付場所：2F 亀祥前 幹事会会場：3F 303号室 講演会場：2F 亀祥 夕食・

懇親会会場：1F 瑞雲 昼食会場：2F しらかば ファイル・オン・ザ・デスク会場：

2F 千寿 朝食：2F しらかば

日本下垂体研究会 第28回学術集会 日程表

	8月7日(水)	8月8日(木)	8月9日(金)
700		700 朝食	700 朝食
800		830 一般演題Ⅲ	
900			900 シンポジウムⅡ
1000		1020 休憩	
1100		1030 一般演題Ⅳ	
1200			1130 休憩
			1140 最優秀発表賞表彰式
			1200 閉会
1300	1300 受付開始	1220 昼食	
	1330 幹事会	1320 評議員会・総会 吉村賞授賞式・講演	
1400	1420 開会		
	1430 一般演題Ⅰ	1505 教育講演	
1500		1535 休憩	
		1545 シンポジウムⅠ	
1600	1620 休憩		
	1630 一般演題Ⅱ	1745 休憩	
1700			
1800	1830 休憩荷物移動		
1900		1930 懇親会	
2000	1930 夕食		
2100	2100 ファイルオンザデスク	2130 ファイルオンザデスク	
2300	1日目終了	2日目終了	

# 日本下垂体研究会 第28回学術集会 プログラム

2013年8月7日(水)～9日(金)

花巻温泉 ホテル千秋閣、岩手県花巻市

## 8月7日(水)

参加受付 13:00 ～

開会の辞 14:20 ～ 14:30

一般講演 14:30 ～ 16:20 9演題(各12分) \*最優秀発表賞応募演題

座長: 東村 博子(名古屋大学)・菊地 元史(自治医科大学)・興水 崇鏡(自治医科大学)

### \*1. 視床下部で発見した新規神経ペプチド前駆体遺伝子の機能解析

○谷内秀輔、鹿野健史朗、近藤邦裕、前嶋 翔、益田恵子、別所裕紀、古満芽久美、岩越-浮穴栄子、浮穴和義  
広島大学大学院総合科学研究科脳科学分野

### 2. 胎生ラット下垂体におけるミッドカインの発現

○藤原 研、Rita Maliza、Khongorzul Batchuluun、Dini Ramadhani、矢田部 恵、塚田岳大、屋代 隆  
自治医科大学医学部解剖学講座組織学部門

### 3. エチニルエストロゲンの雌ラットへの新生期曝露による血中ホルモンおよび生殖関連遺伝子発現の変化

○臼田賢人<sup>1</sup>、野沢香織<sup>1</sup>、永岡謙太郎<sup>1</sup>、吉田 緑<sup>2</sup>、田谷一善<sup>1</sup>、渡辺 元<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京農工大学農学部獣医生理学研究室、<sup>2</sup>国立医薬品食品衛生研究所

### 4. 下垂体幹・前駆細胞で機能する Ephrin シグナル分子の探索

○吉田彩舟<sup>1,5</sup>、関田雅世<sup>1</sup>、樋口雅司<sup>3,4</sup>、陳 黙<sup>1,5</sup>、津田光芳<sup>1</sup>、加藤たか子<sup>3,4</sup>、加藤幸雄<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>明大院・農、<sup>2</sup>明大・農、<sup>3</sup>明大・生殖内分泌研、<sup>4</sup>明大・研究知財、<sup>5</sup>学振研究員 DC

### 5. 尾索動物での下垂体の研究

○寺門 潔  
埼玉大学理学部、東邦大学理学部生物科学科

### \*6. 高トリプシンストレスを用いた下垂体幹・前駆細胞分画法の検討



○関田雅世<sup>1</sup>、吉田彩舟<sup>1,5</sup>、樋口雅司<sup>3,4</sup>、津田光芳<sup>1</sup>、加藤たか子<sup>3,4</sup>、加藤幸雄<sup>1,2,4</sup>

<sup>1</sup> 明治大・院、<sup>2</sup> 明治大・農、<sup>3</sup> 明治大・研究知財、<sup>4</sup> 明治大・生殖内分泌研、<sup>5</sup> 学振特別研究員 DC

7. 新規因子 CAR 陽性細胞は下垂体幹細胞ニッチを形成する

○陳 黙<sup>1,5</sup>、八子英司<sup>1</sup>、樋口雅司<sup>3,4</sup>、吉田彩舟<sup>1,5</sup>、加藤たか子<sup>3</sup>、加藤幸雄<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup> 明大・院、<sup>2</sup> 明大・農、<sup>3</sup> 明大・生殖内分泌研、<sup>4</sup> 明大・研究知財、<sup>5</sup> 学振・DC

\*8. 下垂体の Neuronatin は幹細胞で発現を開始する

○菅野尚子<sup>1</sup>、樋口雅司<sup>2,3</sup>、八子英司<sup>1</sup>、吉田彩舟<sup>1,4</sup>、陳 黙<sup>1,4</sup>、加藤たか子<sup>2,3</sup>、加藤幸雄<sup>1,3,5</sup>

<sup>1</sup> 明大院・農、<sup>2</sup> 明大・研究知財、<sup>3</sup> 明大・生殖内分泌研、<sup>4</sup> 学振研究員 DC、<sup>5</sup> 明大・農

9. ラット胎仔期に濾胞星状細胞様細胞が下垂体に侵入する

○八子英司<sup>1</sup>、堀口幸太郎<sup>2</sup>、樋口雅司<sup>3,4</sup>、藤原 研<sup>2</sup>、吉田彩舟<sup>1,5</sup>、陳 黙<sup>1,5</sup>、菅野尚子<sup>1</sup>、加藤たか子<sup>3,4</sup>、屋代 隆<sup>2</sup>、加藤幸雄<sup>1,3,6</sup>

<sup>1</sup> 明大院・農、<sup>2</sup> 自治医科大・医学・解剖、<sup>3</sup> 明大・生殖内分泌研、<sup>4</sup> 明大・研究知財、<sup>5</sup> 学振研究員 DC、<sup>6</sup> 明大・農

休憩 16:20 ~ 16:30

一般講演 16:30 ~ 18:30 10 演題 (各 12 分)

座長：中村 和明 (国立成育医療研究センター)・森山 隆太郎 (近畿大学)・暮地本 宙己 (旭川医科大学)

10. 下垂体前葉の分化における転写因子 PRRX1 と PRRX2 の機能解析

○上春浩貴<sup>1</sup>、樋口雅司<sup>2,3</sup>、吉田彩舟<sup>1,4</sup>、渋谷汐里<sup>1</sup>、津田光芳<sup>1</sup>、関田雅世<sup>1</sup>、加藤たか子<sup>2,3</sup>、加藤幸雄<sup>1,5</sup>

<sup>1</sup> 明大院・農、<sup>2</sup> 明大・生殖内分泌研、<sup>3</sup> 明大・研究知財、<sup>4</sup> 学振研究員 DC、<sup>5</sup> 明大・農、

11. 下垂体前葉に存在する S100 タンパク陽性細胞の不均一性の探求

○堀口幸太郎<sup>1,2</sup>、吉田彩舟<sup>3</sup>、藤原 研<sup>4</sup>、樋口雅司<sup>2,5</sup>、加藤たか子<sup>2,5</sup>、大迫俊二<sup>1</sup>、屋代 隆<sup>4</sup>、加藤幸雄<sup>2,3,5,6</sup>

<sup>1</sup> 杏林大学保健学部、<sup>2</sup> 明治大・生殖内分泌研、<sup>3</sup> 明治大・院・農研、<sup>4</sup> 自治医科大学医学部解剖学講座 (組織学部門)、<sup>5</sup> 明治大・研究知財、<sup>6</sup> 明治大・農

12. ラット下垂体前葉における新規細胞種の発見 —Desmin-immunopositive

Perivascular Cell—

○屋代 隆<sup>1</sup>、Depicha Jindatip<sup>1</sup>、Alimuddin Tofrizal<sup>1</sup>、幸喜 富<sup>1</sup>、東 森生<sup>1</sup>、菊地元史<sup>1,2</sup>、堀口幸太郎<sup>3</sup>

<sup>1</sup>自治医科大学医学部解剖学講座組織学部門、<sup>2</sup>自治医科大学医学部教育学、<sup>3</sup>杏林大学保健学部

13. 新しい手法を用いた走査電子顕微鏡による下垂体前葉細胞の同定

○甲賀大輔<sup>1</sup>、暮地本宙己<sup>2</sup>、渡部 剛<sup>2</sup>、牛木辰男<sup>1</sup>

<sup>1</sup>新潟大学 大学院医歯学総合研究科 顕微解剖学分野、<sup>2</sup>旭川医科大学 顕微解剖学分野

\*14. ラット下垂体隆起部におけるインスリン様成長因子結合タンパク質 5 の発現変動および産生細胞の検討

○長坂麻衣<sup>1</sup>、相澤清香<sup>1</sup>、坂田一郎<sup>1</sup>、坂井貴文<sup>1</sup>

<sup>1</sup>埼玉大学 大学院理工学研究科

15. マウス下垂体の  $\alpha$ -subunit 含有細胞に局在するリゾホスファチジン酸受容体 1 mRNA の発現量は去勢により増加する

○森山隆太郎、松本絵美、原 玲奈、宮里公子、十河由紀、福嶋伸之  
近畿大学生命科学

16. バソインヒビンおよびカテプシン D の周産期心筋症、妊娠高血圧症候群との関連性解析

○中村恵理<sup>1</sup>、生駒直也<sup>1</sup>、廣田飛鳥<sup>1</sup>、渡辺つかさ<sup>1</sup>、中嶋亮順<sup>1</sup>、神谷千津子<sup>2</sup>、池田智明<sup>3</sup>、石田充代<sup>1</sup>、針谷敏夫<sup>1</sup>

<sup>1</sup>明治大学大学院 農学研究科 生体機構学研究室、<sup>2</sup>国立循環器病研究センター 周産期科、<sup>3</sup>三重大学 産婦人科

17. バソインヒビン受容体の探索

○渡辺つかさ、畑中拓郎、廣田央紀、久保田菜月、池田裕子、石田充代、針谷敏夫  
明治大学大学院 農学研究科 生体機構学研究室

18. GnRHレセプター下流のシグナル伝達がラット下垂体前葉LH/FSH産生細胞の粗面小胞体に与える影響

○暮地本宙己<sup>1</sup>、穂坂正博<sup>2</sup>、板東良雄<sup>3</sup>、甲賀大輔<sup>4</sup>、平 義樹<sup>1</sup>、牛木辰男<sup>4</sup>、渡部 剛<sup>1</sup>

<sup>1</sup>旭川医科大学 解剖学講座 顕微解剖学分野、<sup>2</sup>秋田県立大学 生物資源科学部 応用生物科学科 分子細胞機能研究グループ、<sup>3</sup>旭川医科大学 解剖学講座 機能形態学分野、<sup>4</sup>新潟大学大学院 医歯学総合研究科 顕微解剖学分野

19. 組換え体マウス卵胞刺激ホルモンと黄体形成ホルモンの生産

○郷家 彩<sup>1</sup>、飯野佳代子<sup>1</sup>、加藤大亮<sup>2</sup>、津田光芳<sup>1</sup>、八子英司<sup>1</sup>、加藤幸雄<sup>1, 2, 3</sup>、  
太田昭彦<sup>1, 2, 3</sup>

<sup>1</sup>明大院農研、<sup>2</sup>明大農、<sup>3</sup>明大生殖内分泌研

休憩と荷物移動 18:30 ~ 19:30

夕食 19:30 ~ 21:00

ファイルオンザデスク 21:00 ~ 23:00

8月8日(木)

朝食 7:00 ~ 8:30

一般講演 8:30 ~ 10:20 9演題(各12分)

座長: 松田 恒平(富山大学)・中沢 和美(東海大学)・戸村 秀明(明治大学)

20. 雌ラットにおける胃のエストロゲン合成分泌の発生過程と性周期の影響

○小林裕人、吉田沙織、孫 英傑、白澤信行、内藤 輝  
山形大学医学部 解剖学第一講座

21. 黄体形成ホルモン(LH)分泌に伴うゴナドトロフ内アネキシンA5の局在

○汾陽光盛、中村祐希、米澤智洋、久留主志朗  
北里大学獣医生理学研究室

22. ゴナドトロフにおけるMyxovirus resistance 1(Mx1)のイントロン複合型mRNAの発現

○寺島涼太、米澤智洋、久留主志朗、汾陽光盛  
北里大学獣医生理学研究室

23. エストロゲン長期投与によりラット下垂体に誘発された多ホルモン産生増殖性病変の病理組織学的解析

○竹腰 進<sup>1</sup>、井野元智恵<sup>2</sup>、安井雄三<sup>1</sup>、北谷佳那恵<sup>1</sup>、中村直哉<sup>2</sup>、寺本 明<sup>3, 4</sup>、  
長村義之<sup>5</sup>

<sup>1</sup>東海大学医学部基礎医学系生体防御学、<sup>2</sup>東海大学医学部基盤診療学系病理診断学、<sup>3</sup>日本医科大学脳神経外科学、<sup>4</sup>東京労災病院、<sup>5</sup>国際医療福祉大学病理診断センター

24. ガラニン受容体を介したキスペプチン誘導性黄体形成ホルモン分泌の抑制的調節機構

○家田菜穂子<sup>1</sup>、上野山賀久<sup>1</sup>、前多敬一郎<sup>2</sup>、東村博子<sup>1</sup>

<sup>1</sup>名古屋大学大学院生命農学研究科、<sup>2</sup>東京大学大学院農学生命科学研究科

25. ゾウの生殖内分泌学

○田谷一善<sup>1</sup>、山本ゆき<sup>2</sup>、山本達也<sup>3</sup>、永岡謙太郎<sup>1</sup>、渡辺 元<sup>1</sup>、Imke Lueders<sup>4</sup>、Thomas B. Hildebrandt<sup>4</sup>

<sup>1</sup>東京農工大学獣医生理学、<sup>2</sup>岡山大学、<sup>3</sup>群馬サファリパーク、<sup>4</sup>Leibniz Institute of Zoo and Wildlife Research

26. 下垂体 ACTH 産生腺腫細胞における転写因子 Hypoxia-responsible factor 1 および NFAT の役割

○岩崎泰正<sup>1</sup>、西山 充<sup>2</sup>、田口崇文<sup>2</sup>、次田 誠<sup>2</sup>、岡崎瑞穂<sup>2</sup>、中山修一<sup>2</sup>、江間宏樹<sup>2</sup>、菅原 明<sup>3</sup>、蔭山和則<sup>4</sup>、沖 隆<sup>5</sup>、神林真知子<sup>1</sup>、川村和夫<sup>6</sup>

<sup>1</sup>高知大学臨床医学部門、<sup>2</sup>内分泌代謝・腎臓内科、<sup>6</sup>理学部応用理学科、<sup>3</sup>東北大学大学院医学系研究科、<sup>4</sup>弘前大学医学部内分泌代謝・感染症内科、<sup>5</sup>浜松医科大学第二内科

27. 下垂体中葉特異的 VEGF-A 過剰発現ツメガエルの MSH 細胞機能の解析

○中倉 敬<sup>1</sup>、海野恵介<sup>2</sup>、岡田令子<sup>2</sup>、鈴木雅一<sup>2</sup>、田中滋康<sup>2</sup>、菊山 榮<sup>3</sup>

<sup>1</sup>帝京大・医・解剖、<sup>2</sup>静岡大・理・生物、<sup>3</sup>早稲田大・教育総合科学

28. 鎮痛耐性獲得におけるオピオイドとバゾプレッシンの相互作用

○輿水崇鏡

自治医科大学分子薬理学部門

休憩 10:20 ~ 10:30

一般講演 10:30 ~ 12:20 9 演題 (各 12 分)

座長：平井 俊朗 (帝京科学大学)・小林 哲也 (埼玉大学)・堀口 幸太郎 (杏林大学)

29. 分泌顆粒形成でセクレトグラニン III が果たす役割

○穂坂正博<sup>1</sup>、暮地本宙己<sup>2</sup>、渡部 剛<sup>2</sup>

<sup>1</sup>秋田県立大学 応用生物科学科、<sup>2</sup>旭川医科大学 解剖学講座

\*30. 遺伝子改変マウスを用いた *Kiss1* 発現におけるエンハンサーの同定

○後藤哲平<sup>1,2</sup>、富川順子<sup>3</sup>、安部仁美<sup>1</sup>、深沼達也<sup>1</sup>、高瀬健志<sup>1</sup>、今村拓也<sup>4</sup>、三宝 誠<sup>2</sup>、富田江一<sup>2</sup>、平林真澄<sup>2</sup>、東村博子<sup>1</sup>、前多敬一郎<sup>5</sup>、上野山賀久<sup>1</sup>

<sup>1</sup>名古屋大学大学院生命農学研究科、<sup>2</sup>生理学研究所、<sup>3</sup>成育医療研究センター、<sup>4</sup>九州大学大学院医学研究院、<sup>5</sup>東京大学大学農学生命研究科

31. 真骨魚類消化管におけるアミノ酸吸収機構と浸透圧環境・下垂体ホルモンとの関係性

○渡邊壮一、相馬智史、金子豊二  
東京大学大学院農学生命科学研究科

\*32. キンギョ下垂体のソマトラクチン産生細胞の背景色応答

○浜口晃吉<sup>1</sup>、東 森生<sup>2</sup>、高橋明義<sup>3</sup>、内山 実<sup>1</sup>、松田恒平<sup>1,4</sup>  
<sup>1</sup>富山大・院理工・生体制御、<sup>2</sup>自治医大・医・解剖、<sup>3</sup>北里大・海洋生命、<sup>4</sup>富山大・院生命融合・生体情報

\*33. ゼブラフィッシュゲノムに存在する GPR4 相同遺伝子の機能解析

○大嶋菜月、戸村秀明  
明治大学農学研究科生命科学専攻細胞情報制御学

\*34. ゼブラフィッシュゲノムに存在する OGR1 相同遺伝子の機能解析

○持丸雄太<sup>1</sup>、中倉 敬<sup>2</sup>、茂木千尋<sup>3</sup>、佐藤幸市<sup>3</sup>、岡島史和<sup>3</sup>、戸村秀明<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>明治大学農学研究科生命科学専攻細胞情報制御学、<sup>2</sup>帝京大学医学部解剖、<sup>3</sup>群馬大学生体調節研シグナル伝達

\*35. ゼブラフィッシュゲノムに存在する 2 種類の G2A 相同遺伝子の機能解析

○一條祐太<sup>1</sup>、大鐘 潤<sup>2</sup>、東 森生<sup>3</sup>、松田恒平<sup>4</sup>、戸村秀明<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>明治大学農学研究科生命科学専攻細胞情報制御、<sup>2</sup>明治大学農学研究科生命科学専攻ゲノム機能工学、<sup>3</sup>自治医科大学医学部解剖、<sup>4</sup>富山大学理学部生物

\*36 魚類におけるイソトシンとアンジオテンシン II の飲水促進作用

○野畑重教<sup>1</sup>、安藤正昭<sup>1</sup>、竹井祥郎<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京大学 大気海洋研究所 生理学分野

37. クロヌタウナギにおける生殖腺発達に応じた血中性ステロイドホルモン動態と合成酵素の探索

○西山真樹<sup>1</sup>、阿部希美<sup>2</sup>、内田勝久<sup>3</sup>、下谷豊和<sup>4</sup>、野崎真澄<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>新潟大・院・自然、<sup>2</sup>筑波大・院・生命環境、<sup>3</sup>宮崎大・農・海洋生物環境、<sup>4</sup>新潟大・理・臨海

昼食

12 : 20 ~ 13 : 20

評議員会・総会 13:20 ～ 13:40

吉村賞授賞式・講演 13:40 ～ 15:05

座長：渡辺 元（東京農工大学）  
田谷 一善（東京農工大学 名誉教授）  
「インヒビリンによる哺乳類の視床下部・下垂体・卵巣機能調節機構」

座長：針谷 敏男（明治大学）  
前多 敬一郎（東京大学大学院農学生命科学研究科 教授）  
「ほ乳類の繁殖機能を制御する神経内分泌メカニズム」

教育講演 15:05 ～ 15:35

座長：屋代 隆（自治医科大学）  
白澤 信行（山形大学医学部 准教授）  
「胃のエストロゲンと下垂体」

休憩 15:35 ～ 15:45

シンポジウム I 15:45 ～ 17:45

座長：汾陽 光盛（北里大学獣医学部）・天野 勝文（北里大学海洋生命科学部）

「性徴・性分化と内分泌」

SI-1：アブラハヤの排卵に伴う吻部伸長における生殖腺刺激ホルモンの役割  
千葉 洋明（北里大学海洋生命科学部）

SI-2：両生類の雌雄生殖巣形成と性ホルモン産生制御  
伊藤 道彦（北里大学理学部）

SI-3：脳の性と性分化～鳥類キメラを用いた解析～  
浜崎 浩子（北里大学一般教育部）

SI-4：人類進化とエストロゲンおよびその遺伝的制御  
太田 博樹（北里大学医学部）

休憩 17:45 ～ 19:30

懇親会 19:30 ～ 21:30

ファイルオンザデスク 21:30 ～ 23:00

## 8月9日（金）

朝食 7:00 ～ 9:00

シンポジウム II 9:00 ～ 11:30

座長：安東 宏徳（新潟大学理学部）・高橋 明義（北里大学海洋生命科学部）

### 「下垂体の起源と進化」

SII-1：ヌタウナギからみた腺下垂体ホルモンの進化

野崎 眞澄（新潟大学理学部）

SII-2：Discovery and evolution of gonadotropins and their receptors

Stacia A. Sower（ニューハンプシャー大学）

SII-3：成長促進関連ホルモンの分子進化と機能

森山 俊介（北里大学海洋生命科学部）

SII-4：無脊椎動物にみる下垂体ホルモンと受容体の進化

窪川 かおる（東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所）

SII-5：GnIH の起源と分子進化：無顎類における GnIH の同定と機能解析

大杉 知裕（（公財）サントリー生命科学財団生物有機科学研究所）

休憩 11:30 ～ 11:40

最優秀発表賞表彰式 11:40 ～ 12:00

閉会の辞 12:00 ～ 12:05